

Press Release

2024年2月6日

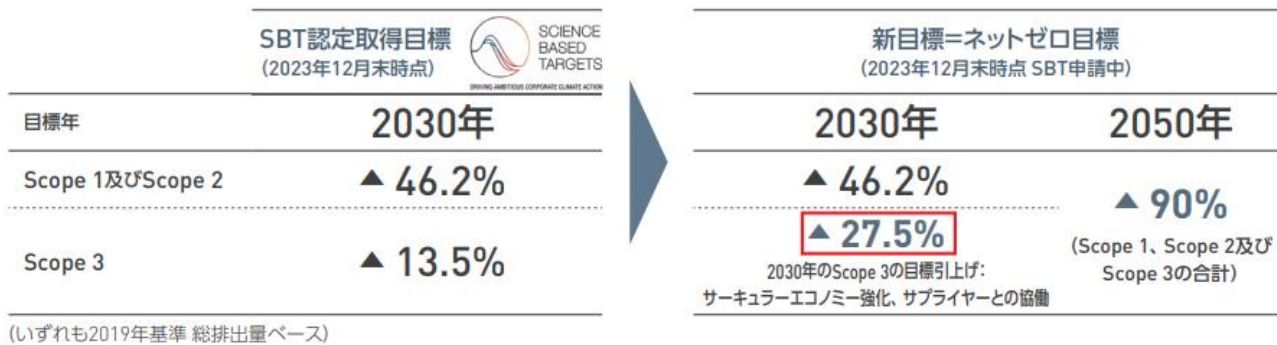
CDP2023「気候変動」「水セキュリティ」でA-の評価を獲得

DMG 森精機株式会社(以下、当社)は、国際環境非営利団体 CDP による調査「CDP2023」の気候変動部門および水セキュリティ部門でリーダーシップレベル「A-」の評価を受けました。

当社は、2030年までの温室効果ガス排出削減目標を設定し、2021年11月にSBT(Science Based Targets)認定を取得しました。2030年までに基準年の2019年に対して、Scope1及びScope2で46.2%の排出削減、Scope3で13.5%の排出削減を目標値として設定しており、この目標をさらに拡大し、2050年までに排出量の90%を削減するSBTネットゼロ認定の取得に向けて取り組んでおります。排出量削減に向け、太陽光発電やCO₂フリー電力などの再生可能エネルギーの導入、鋳物の製造工程の電気炉化など様々な取り組みを実施し、目標を上回る排出削減を実現しました。

今回の調査で、気候変動部門では当社の温室効果ガス排出削減に向けた目標設定と達成に向けた取り組みと実績が、また、水セキュリティ部門では、水リスクの把握と管理体制が、高く評価されたものと考えております。

引き続き、自家消費型太陽光発電の導入や、サーキュラーエコノミーによる資源循環に積極的に取り組み、Scope 1, 2とScope 3の排出量の削減を行います。加えて、製品の工程集約、自動化、DX化を中核とするマシニング・トランスフォーメーション(MX)を推進し、お客様やサプライチェーンでの生産性向上と経営資源の節約、温室効果ガス排出削減に貢献してまいります。



温室効果ガス(CO₂)排出削減目標

以上